



入笠湿原の“ノハナショウブ” がスゴイ！！

昨年 5 月 22 日、日本固有原種の“ノハナショウブ”について、玉川大学農学部 田淵 俊人教授による講演会があり、歴史や各地との比較、入笠湿原の花の特徴などを学びました。



田淵 俊人 教授

後日 7 月下旬に開花したノハナショウブの株数調査など田淵教授と一緒したところ、不順だった天候の影響なのかたくさんの変種が見られました。

ノハナショウブは同一種で群生するそうですが、入笠湿原では花の色、形など多種多様な花が見られる珍しい地域とのことです★

例年だと時期をずらして開花するノハナショウブの種類が同時に花を咲かせるというミラクルがあり株数も増えていて教授と大感激！

その時に見られた様々な特徴を持つノハナショウブの花をご紹介します♪

